

1 平成26年度 役員、事務局担当者

(1) 役員

教育情報・視聴覚部会放送教育研究委員会委員長 及び 県高文連放送部会委員長 兼
事務局長（全国高文連放送部会・関東高文連放送部会・山梨県高文連放送部会担当）：

小林 理恵（韮崎）

副委員長（NHK杯全国高校放送コンテスト担当）： 川手 里佳（富士河口湖）

NHK杯全国高校放送コンテスト山梨県大会担当： 望月 祐子（山梨）

NHK杯全国高校放送コンテスト山梨県大会担当： 西室 聡子（塩山）

YBS杯県下高校放送コンテスト担当： 遠藤 学実（韮崎）

YBS杯県下高校放送コンテスト担当： 高見澤 あずみ（北杜）

県高校芸術文化祭放送部門担当 兼
放送教育研究委員会 会計： 名取 由利子（甲府一）

県高校芸術文化祭放送部門担当： 濱 康博（山梨英和）

山梨県高等学校文化連盟放送部会 運営委員： 長坂 教子（山梨学院）

山梨県高等学校文化連盟放送部会 会計： 堀之内 里美（甲府昭和）

記録（放送連盟賞賞状・報告書担当）： 小宮 由美子（甲府南）

(2) 放送コンテストをお手伝いいただく先生

*データ処理担当：

長谷川 準（谷村工）

(3) 会計監査担当校：

韮崎高等学校

(4) 放送コンテスト会場（校）

*NHK杯高校放送コンテスト山梨県大会：

ぴゅあ総合

*YBS杯県下高校放送コンテスト：

ぴゅあ総合

*県高校芸術文化祭放送部門：

山梨県立図書館

*放送生徒・顧問研修会：

甲府昭和高等学校
堀之内 里美

2 平成26年度 事業計画

月	日(曜日)	事業内容	備考(場所など)
4	15(火)	(全体会議)第1回放送教育研究委員会総会	甲府昭和高校
5	7(水) ・9(金)	県高校総体 開会式・閉会式 司会 *注①	小瀬陸上競技場
6	14(土)	★第61回NHK杯全国高校放送コンテスト 山梨県大会	びゅあ総合
7	上旬 8(火) ()? 22(火) ～24(木) 30(水) ～31(木)	アナウンス・朗読の全国大会出場者 練習会 (会議)NHK杯担当者会議 高校野球選手権山梨大会 開会式 司会*注② 全国高校総体夏季大会結団壮行式司会*注③ ★第61回NHK杯全国高校放送コンテスト 全国大会(準々決勝～決勝) ★第38回全国高等学校総合文化祭「茨城大会」 (会議)全国顧問会議・関東地区代表者会議	NHK甲府放送局 東京 小瀬球場 東京 茨城県日立市
9	14(日)	★YBS杯県下高校放送コンテスト 県高校芸術文化祭放送部門 参加申し込み	びゅあ総合 各校
10	未定	(全体会議)第2回放送教育研究委員会総会	未定
11	1(土) 6(木)	第35回山梨県高等学校芸術文化祭 ★放送部門 同 グランドステージ・パレード司会、記録	山梨県立図書館 県民文化ホール・市内
12	() () 26(金) ～27(土)	全国高校総体冬季大会結団壮行式司会 *注⑤ リーディングシアター司会・模範朗読*注⑥ 校内放送指導者講座	未定 山梨県立文学館 東京
1	中頃 25(日)	放送連盟賞の表彰状申請 高文連会誌の原稿作成 ★第12回関東地区高校放送コンクール	各校 群馬県前橋市
2	8(日)	放送生徒・顧問研修会 (会議)事務局会議	甲府昭和高校
3		放送教育研究委員会活動状況報告発行	

☆：県内のコンテスト

★：県外のコンテスト

*注 司会生徒等の推薦について

①②③前年度の9月のYBS杯県下高校放送コンテストの結果により①は男女各1名、②は女子1名、③は1名(男女問わず)の推薦者を決める。

④ 9月のYBS杯県下高校放送コンテストの結果により、グランドステージは男女各1名、パレードは女子2名を推薦。また、記録係として、テレビ制作PR部門の上位入賞校を推薦。

⑤ 9月のYBS杯県下高校放送コンテストの結果により、司会1名(男女問わず)を推薦。

⑥ 9月のYBS杯県下高校放送コンテストの結果により、司会2名(男女問わず)を推薦。

11月の芸文祭朗読部門の結果により、模範朗読1名(男女問わず)を推薦。

3 県内の放送コンテストについて

(1) 放送コンテスト会場校 順番表

甲府市内または近郊で、分担金を払っている学校が、会場校を担当します。

NHK杯全国高校放送コンテスト山梨県大会、YBS杯県下高校放送コンテスト、山梨県高等学校芸術文化祭放送部門は基本的に外部の会場で実施し、生徒・顧問研修会を会場校で実施するようにしたいと思います。ただし、会場校の都合等によって、変更になる場合もあります。

―― 甲府第一	―― 甲府南	―― 甲府昭和――	
(平成29)	(平成30)	(平成26)	
――山梨英和	―― 甲府西	―― 学院大付属	―― 甲府東
(平成24)	(平成25)	(平成27)	(平成28)

(2) 放送コンテスト審査員 順番表

1. 本年度も今までと同様に、次のような順序でお願いします。ただし、都合が悪い学校があったり、同じコンテストの審査員に同じ方が何年か続いたり、会場校担当者や事務局担当者とかち合う場合もあるため、この順番は多少前後します。
2. 運営員を担当される先生は、ご自分の学校の生徒を、その部門の計時や審査表の回収などにあたる補助員にしてください。もし、生徒がいない場合は、会場校やコンテスト担当者の学校の生徒が、補助員を手伝います。
3. 都合が悪い場合には、事前に各コンテスト担当者までご連絡ください。
4. 今年度から新たにコンテストに参加される学校の顧問の先生には、ご希望で模擬審査をしていただけますので、各コンテスト担当者までご連絡ください。

富士北稜 ――― 笛吹―― 甲府東 ――― 塩山―― 巨摩―― 吉田
―― 山梨英和―― (市川)―― 日川―― (身延)―― 富士河口湖―― 桂
―― 甲府昭和―― (白根)―― 甲府第一―― 都留―― 北杜―― 甲府南
―― 山梨―― 甲府西―― 韮崎―― (谷村工)―― 山梨学院大付属
―― 甲府工―― 甲府商業―― 甲府城西 ――― (韮崎工業)―― (上野原)

注：() は、平成25年度の分担金を払っていただかなかった学校です。

今年度からは、全ての顧問の先生方にご協力いただきながら、部門の運営に新たな輪番制を導入します。

＜平成25年度 放送コンテスト 審査員・運営員 順番表＞

コンテスト名	事務局・係	審査員	運営員	会場
NHK杯 (6月)	富士河口湖 吉田 谷村工 (成績処理) * 甲府城西 * 甲府工業 * 北杜 * 都留 * 桂 * 笛吹 * 6	甲府南 山梨 甲府西 韮崎	* 甲府工業 * 北杜 * 都留 * 笛吹	ぴゅあ総合
YBS杯 (9月)	韮崎 甲府西 谷村工 (成績処理) 山梨学院 * 甲府商業 * 山梨 * 2	富士河口湖 北杜 甲府城西 富士北稜 甲府東 塩山	* 山梨学院 * 甲府商業 * 山梨	山梨市民会館
芸文祭 (11月)	甲府第一 塩山 甲府昭和 * 甲府南 * 日川 * 巨摩 * 3	山梨学院 桂	* 甲府南 * 巨摩	山梨市民会館
研修会 (2月)	* 山梨英和 * 市川 * 甲府東 * 甲府第一			甲府西
記録 (活動状況)	甲府南 * 富士河口湖 * 1			

<平成26年度 放送コンテスト 審査員・運営員 順番表>

コンテスト名	事務局・係	審査員	運営員	会場
NHK杯 (6月)	山梨 塩山 富士河口湖 谷村工 (成績処理) * 甲府城西 * 甲府工業 * 都留 * 桂 * 笛吹 * 吉田	甲府商業 山梨英和 日川 甲府昭和	* 甲府城西 * 甲府工業 * 都留 * 笛吹	ぴゅあ総合
YBS杯 (9月)	韮崎 北杜 谷村工 (成績処理) * 甲府西 * 甲府商業 * 巨摩	甲府工業 笛吹 甲府南 吉田 甲府第一 都留	* 甲府西 * 甲府商業 * 巨摩	ぴゅあ総合
記録 (活動状況)	甲府南 (* 韮崎) (* 北杜)			
芸文祭 (11月)	甲府第一 山梨英和 谷村工 (成績処理) * 山梨学院 * 甲府昭和 * 日川 * 富士北稜	北杜 巨摩	* 富士北稜 * 山梨学院	県立図書館
研修会 (2月)	韮崎 * 甲府昭和 * 甲府東			甲府昭和

4 県外の放送コンテストについて

(1) NHK杯全国高校放送コンテスト（全国大会）《7月》

出場者	大会参加費	引率顧問の審査員など
本年度の山梨県大会上位入賞者。	大会参加費有り。	審査員・運営係有り。
①アナウンス部門 6名 ②朗読部門 6名 ③ラジオドキュメント部門 4作品 ④テレビドキュメント部門 4作品 ⑤創作ラジオドラマ部門 2作品 ⑥創作テレビドラマ部門 2作品	アナウンス部門・朗読部門は、1名 【4,000円】 番組部門は、1作品 【6,000円】	引率顧問の中で、準々決勝と準決勝の各部門審査員・運営係を分担して担当する。

(2) 全国高校総合文化祭放送部門 《8月》

出場者	大会参加費	引率顧問の審査員など
前年度の県高校芸術文化祭の上位入賞者。	大会参加費無し。	審査員・運営係無し。
①アナウンス部門 3名 (芸術文化祭賞1名・優秀賞2名) ②朗読部門 3名 (芸術文化祭賞1名・優秀賞2名) ③ビデオメッセージ部門 2作品 (芸術文化祭賞1作品・優秀賞上位1作品*) ④オーディオピクチャー部門 1作品 (芸術文化祭賞1作品)		

*ただし、ビデオメッセージ部門とオーディオピクチャー部門で同一校が芸術文化祭賞を受賞した場合を除き、両部門に同一校を推薦することはできる限り避ける。

(3) 関東地区高校放送コンクール《1月》

出場者	大会参加費	引率顧問の審査員など
本年度の県高校芸術文化祭の上位入賞者。	大会参加費有り。	審査する場合がある。
①アナウンス部門 3名 (奨励賞3名) ②朗読部門 3名 (奨励賞3名) ③ビデオメッセージ部門 1作品 (優秀賞下位1作品) ④オーディオピクチャー部門 1作品 (優秀賞上位1作品)	県としての参加負担金が、1県 【2万円】 均等に参加部門で分担すると、1部門 【2,500円】	引率顧問の中で、各部門の審査員を分担して担当する場合がある。

*ただし、ビデオメッセージ部門とオーディオピクチャー部門の両方に同一校を推薦することはできる限り避ける。

5 分担金について

(1) 分担金の金額

＊1校 6,000円

ただし、特別支援学校については、半額の 3,000円

(2) 分担金の使途

＊分担金は、主に年3回のコンテストの運営費として使われます。

また、卒業時に3年生に贈られる、「山梨県高等学校放送連盟賞」の表彰の費用にもなります。

＊1回でもコンテストに参加される場合は、分担金をお支払いください。

山梨県高等学校芸術文化祭 放送部門にのみ参加される場合でも、同様です。

＊「山梨県高等学校放送連盟賞」の表彰を申請される場合も、分担金をお支払いいただいていることが条件になります。

6 表彰について

(1) 山梨県高等学校放送連盟賞の表彰対象生徒：

3年生で放送（視聴覚）部あるいは委員会に所属の生徒

＊原則として1校につき1名から5名まで

(2) 表彰に値する条件：1あるいは2の条件に該当する生徒

1. アナウンス・朗読、番組（テレビ、ラジオ）各部門で全国大会・関東大会に出場した生徒
2. 全国大会に出場できなかったが、日常の学校内の放送活動を積極的に熱心に行った生徒

＊5名までの原則を超えて表彰を希望する場合は、あらかじめ事務局にお申し出いただき、審議したうえで決定します。

＊原則を超える場合は、誰が見ても公平だと納得できる理由が必要と考えられるため、全国大会や関東大会への出場などの実績を基にして審議します。